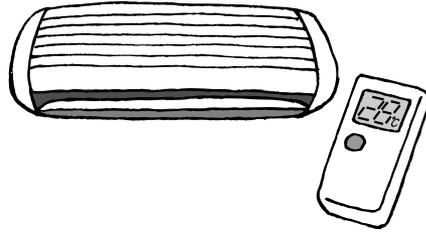




今こそライフ 省エネに

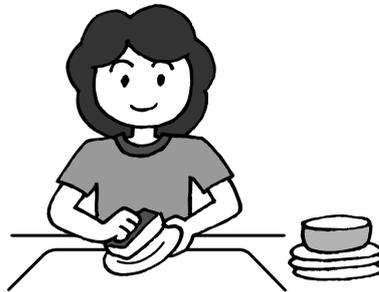
一人ひとりの省エネが 地球温暖化防止につながる

① 冷房は28℃、暖房は20℃に温度設定



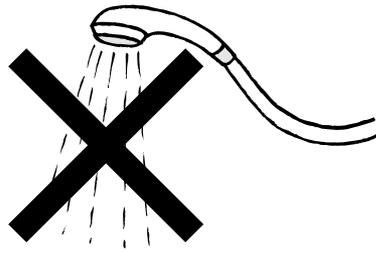
エアコンの冷房を従来より1℃高く、暖房を1℃低く温度設定する
(年間1,833円の節約)

③ 洗い物をするときのお湯の温度設定は低めに



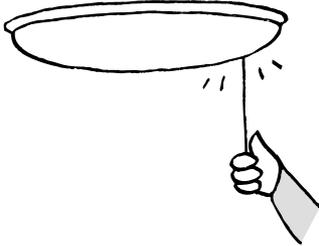
給湯器の温度を従来より1℃低く設定する
(年間656円の節約)

⑤ シャワーを使うとき、お湯を出しっぱなしにしない



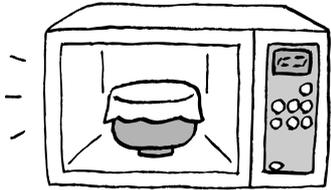
シャワーの時間を1分短くする
(年間1,377円の節約)

② 家電機器をつけっぱなしにしない



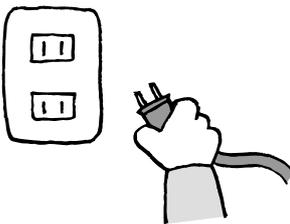
エアコン、テレビ、照明は、使っていない時は消す
(年間2,328円の節約)

④ 煮物などの下ごしらえは電子レンジを活用する



野菜などの下ごしらえをする場合、水から沸騰させる代わりに電子レンジで下ごしらえする
(年間1,240円の節約)

⑥ 電気温水器を使わないときはコンセントを抜く



電源のスイッチをオフにし、コンセントからプラグを抜く
(年間3,674円の節約)

一人ひとりが、身近な生活の中でできる省エネルギーは、家計の節約だけにとどまらず、省資源対策や地球温暖化防止につながります。

上記の取り組みは京都府の「京都府地球温暖化対策推進計画」の中で「わかりやすい行動モデル」として示されているものです。また、省エネによって削減できたエネルギーは、家庭での節約につながります。

ほかにも、車に乗るときには空ぶかしや駐車中のアイドリングはしない、エコバッグを持ち歩いてレジ袋を使わない、電気ポットを使わない時はコンセントを抜く、温水洗浄便座を使わないときはふたを閉めるなどもCO2削減に効果があります。

一人ひとりの身近な行動の積み重ねが、家庭からのCO2削減につながります。

お問い合わせ先

市役所市民課

TEL (077-71) 68-0005